

子育て Q&A

長野・川中島の保健室 養護教諭 白澤章子 さん



思春期の子どもに触りたくなる

Q小学4年の息子を赤ちゃんのようにかわいがりたい気持ちがあります。体に触りたくて困っています。(Y)

9歳ごろのお子さんは、個人差はありますが、自分のからだの機能や妊娠、出産などに興味を持ってきます。自分の性への意識が強まる時期でもあります。少しずつプライバシーを求めるようになります。異性の親と一緒に風呂に入るのを嫌がるお子さんも出てきます。さらに10歳〜11歳ごろになると、友人との関係はより親密となり、親友ができたり、性的なことを話したり、ジョークを言って楽しむようにもなるでしょう。

お子さんの成長にとって、乳幼児期から性教育は必須です。まだ行っていない場合は、

遊びを通してふれあいを

性教育の絵本などを一緒に読んでお母さんも学びましょう。私のおすすめは『あっそうなんだ』(エイデル研究所)です。図書館には、性の絵本がたくさんそろっています。お子さんと一緒に読みたいと思う絵本を選ぶのもおすすめです。

「抱っこやおんぶができなくなったので、寂しさが襲ってくる」とのことですが、お母さんはお子さんにとって養育者です。ご自分の寂しさの穴埋めをお子さんに求めてはいけません。

しかし、お子さんとふれあうことは大切ですので、一緒に相撲や指すもう、おしくらまんじゅうなどをするのはいかがでしょうか。3年間のコロナ禍により、子どもたちの遊び方が変化しました。からだが程よくふれあう機会がかなり減ったので、これからは友だちとのふれあい遊びが必要だと思います。お母さんの寂しさがこれでも襲ってくるなら、心療内科を受診しましょう。ゆっくり話を聞いてもらいたいときは、子育て相談などのカウンセリングもおすすめです。



現職時代、ある校長先生が「子どもの年齢が1つ、2つと①がつく間は抱っこして育てなさい」と教えてくれました。「9つまで。4年生頃ですね。じゃその後は？」「抱っこ」に匹敵するものは「話を聴いてあげること」。会話や対話でなく、子どもの話を「うんうん」と言って聴いてあげることも大切です。とても大切なことを教えていただいたと思っています。



10月下旬早朝 青森空港に行くのに有料道路を通りました。料金所の男性が「おはようございます。気をつけて行ってらっしゃい」と声をかけてくれました。そのだけのことなのに、とてもとてもうれしかったです。心がこもっていると感じました。

文責 阿部陽子 スマイルサポート(017-722-3749)

お元気ですか。  
11月3日の教育のつどいを楽しみにしていたのに風邪をひいてしまい参加できませんでした。残念な思いをしていた所、小形ひとみさんが概要を教えてくださいました。一部載せます。



保健室分科会参加者 18人(うち全教関係)

- ・SNSのトラブルが多くなっている
- ・何かあるととりあえず保健室に預けられるケースが多い(周知から又は養護教諭自ら申し出て)
- ・集団に馴染めない子が多くなっている
- ・いい所をほめて育つこともあるけど、欠点もそのまま認めてあげたい
- ・若い人が孤立しないようにしてあげたい
- ・北海道も暑かった。冬休みを少なくし夏休みを長くしようという動きもある

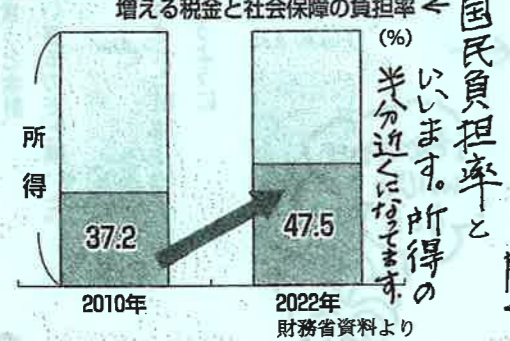
「もし皆様に迷惑をおかけしたとしたら、お詫ごももうしあげます」

政治家の常套句

国民が不満げだから詫げるだけ。謝るポーズをしておけば批判はいずれ収まる。踏む「責任逃れの話法」だ。カウンセラーの信田さよ子は言う。もう一つの狡い話法が「定義権の収奪」。「それはあなたの意見でしょ」(と言いつつ、何が正しいかを決めるのは自分だと居直ると。いずれにせよ強者に問答の場を統べさせてはならない。信田の「家族と厄災」から。(頑張れ、記者さん)

2023・9・27

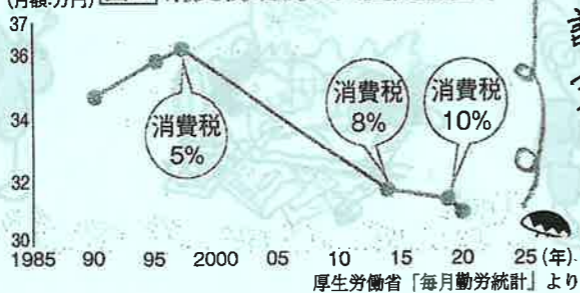
図1 所得の半分がごっそり 増える税金と社会保障の負担率



森永卓郎さんに聞く  
獨協大学教授

消費税 減税すべし

図2 消費税増税で実質賃金低下



新婦人しんぶん  
2023・10・21号より



「大学を卒業した息子が」と知人が嘆いた。

「自分は本当はゲーム・クリエイターになりたかった」

「両親の薦めで大学には通ったが、あんなことがしたかったわけではない」

「だから就活もしていない」

「……って、今更そんなことを言われてもねえ」

「そんな甘い世界じゃないと思うよ」と言つて

「絶対に頑張る、これまで自分の意志ではないことばかりだったから頑張れていなかった」

22歳になる一人息子と両親がインドレスの葛藤の中にいた。

親だって、子どもの夢に賭けてやりたい。

でも、現実を少しは知る先輩として、そんなに甘くはないとも言いたい。

つづき 夢のつづき



団士郎 2017 木陰の物語 見える・見えない 夢のつづき ホンブロック No.1.

しかしそう言うと余計、頑張ると言い張るのだと嘆いた。

そう聞かされた私はいつも言うように

成功をおさめる人だって、前夜までそのことを知らない。

上手いかわかどうかが、親にわかるはずがない。

それより本気なら、自宅でコツコツ努力しているなんてのは駄目だ。

「才能が集まる場所で、同じ志の人と切磋琢磨しなくちゃ」と言った。

息子にそう話すと、大喜びだったと言う。

そして上京。専門学校に入学し、一人暮らしを始めた。

とにかく二年間、本当にやりたいことに挑戦する。

つづき

